

※減速帯本体のボルト固定部は製造工程上薄いゴム膜が残っていることがあるので施工時は貫通させてからの施工をお願いいたします。

減速くん施工方法『アスファルトの場合』

- ① 設置箇所を決め、アンカー位置確認後ドリルで下穴を開けてください。
- ② (約10mmの大きさで、深さ約30mm~40mm程度)
- ③ 下穴内部、設置路面を清掃してください。
- ④ エポキシ接着剤をよく混ぜ下穴の中と減速くんの設置面に塗布してください。接着剤使用量の目安はTYPE2で約1m、TYPE3で約1.5m、TYPE4及びTYPE5で約3m分使用可能です。(アスファルト面施工時は接着剤は必須です。)
- ⑤ 減速くんをセットしてからアンカーを電動ハンマーなどで打ち込んでください。
アンカーサイズは約8mm*130mmです。

減速くん施工方法『コンクリートの場合』

- ① 設置箇所を決め、アンカー位置確認後ドリルで下穴を開けてください。
- ② 約12.5mm~13mmの大きさで深さ約40mm開けてください。(アンカーがGL面飛び出し不可)
- ③ 下穴内部、設置路面を清掃してください。
- ④ 穴の中に付属のアンカー(内ねじ式)を落としこんで上部から打ち込み棒などで打ち込み正確にアンカーを拡張してください。(アンカー拡張確認ください)
※専用打ち込み工具を用いますと正確な拡張が可能です。(サンコーテクノ社製等)
- ⑤ 減速くんをセットしてからボルトをレンチなどで締め付けてください。

※車両の衝撃や接触などでボルトのゆるみが生じることもありますので定期的な増し締めなどメンテナンスは継続的にお願いいたします。

専用接着剤及び付属アンカーに関して

2液混合エポキシ樹脂 袋の真ん中のピンを外して黒、白の2液が良く混ざるようにしてください。低温時期などは混ざりにくいので注意してください。1袋で1kgです。

使用量はタイプにより異なりますが接着剤を十分に使用して下さい。

硬化まで気温にもよりますが時間がかかりますので現場養生などには注意下さい。

※コンクリート面施工時TYPE2とTYPE4施工の場合はボルト長さがアンカー位置により異なりますご注意ください。

※表面が変色することがありますが商品製造工程の中で使用する剥離材の成分ですのでご了承下さい。また製造工程や保管および出荷の工程で製品同士のこすれなどで若干のゴム汚れや擦れが生じることもございますが使用に際しては問題ありませんのでご確認下さい。その他大きな破損などがある際はご連絡をお願いいたします。

施工に際しては専門工具、防具など用いて安全に十分留意して施工をお願いいたします。